

えのもとだより



院長 榎本 泰三

新年あけましておめでとうございます。

平成から令和へと時代が変わり、初めての年を迎えました。

地域の皆様には健やかな新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年 10 月の消費税率の引き上げにより、国民の負担が大きくなり、受診抑制となつてはなりません。当院は、日常の生活習慣病における保険診療に加え、特定健診や生活習慣病予防健診、企業健診、そして人間ドックなどに積極的に取り組んでおります。健診（検診）受診率の向上のほか、少しでも診断精度を上げるために、昨年 PACS（医療用画像管理システム）を新しいものに更新し、レントゲンの画像が格段に向上しました。また電子カルテも次世代のものに更新し、診療がよりスムーズに行えるようになりました。

昨年の講演活動といたしまして、4 月に「奈良慢性便秘症治療講演会」の座長、6 月に製薬会社の勉強会講師、8 月には第 48 回日本消化器がん検診学会近畿地方会のシンポジウムで「過疎地で行う当院の大腸 CT の現状」を発表しました。さらに 10 月には当院非常勤の中川仁先生と「高血圧と消化器疾患 Web セミナー」（写真）を開催し、「実地医家における大腸検査の取り組み」について講演しました。

また旧館トイレを改修して合計 6 基に増設し、前処置患者様の利便性向上を図りました。昨年の大腸検査件数は、大腸内視鏡検査と大腸 CT 検査と合わせて年間 600 件を超え、昨年よりさらに増加しております。また胃内視鏡検査は年間 700 件以上を維持し、胃がん検診としても順調に件数が増えています。昨年春から名誉院長に加え、弟の泰典が毎週土曜日の検査を担当し、検査向上に努めております。

今後も皆様の健康をお守りするために榎本医院のスタッフが一丸となり、日々努力していく所存です。年頭にあたり本年も皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。



名誉院長 榎本泰久

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えの事と、心からお慶び申し上げます。

昨年も大過なく過ごすことが出来ましたのも、皆さま方のご支援・ご協力の賜物と深く感謝しております。本年も当院の3つの理念（地域医療に安心感を与える、医療技術・患者サービスのトップの座の堅持）のもと、職員全員が患者さまに寄り添った温かい医療・看護・介護を行っていききたいと思っております。

一方医療機器面におきましては、電子カルテ導入以来5年経過しましたので、昨年11月新機種に入れ替えました。レントゲン、CT、胃・大腸カメラ画像が一段と鮮明・迅速対応できるようになり、確定診断に大きく寄与するものと考えております。

私は高齢になりましたが、お陰様で心身ともに健康に恵まれております。可能な限り患者さまの為に尽くしたいと思っておりますので、引き続きご指導、ご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。

本年が皆様方にとりまして、より良い一年となりますよう祈念し、新年の挨拶といたします。

院内勉強会（あすなる会）

1月 切迫性尿失禁の困窮度	ファイザー
2月 脂質異常症について～LDL-C低下の重要性～	バイエル
3月 アレルギー性鼻炎と皮膚炎の概要	明治製菓ファルマ
4月 個人情報について	MSD
5月 PACSシステム	コニカミノルタ
6月 アレルギー性鼻炎と進化した点鼻薬のデバイス	GSK
7月 認知症の診断と長谷川式診断	エーザイ
8月 疼痛の病態と管理	第一三共
8月 過疎地で行う大腸CTの現状	院長
9月 過活動膀胱	杏林
10月 高血圧ガイドラインの変更点	武田
12月 腸内細菌と健康	クリニコ
「高血圧」について	中川 仁 医師（非常勤）